

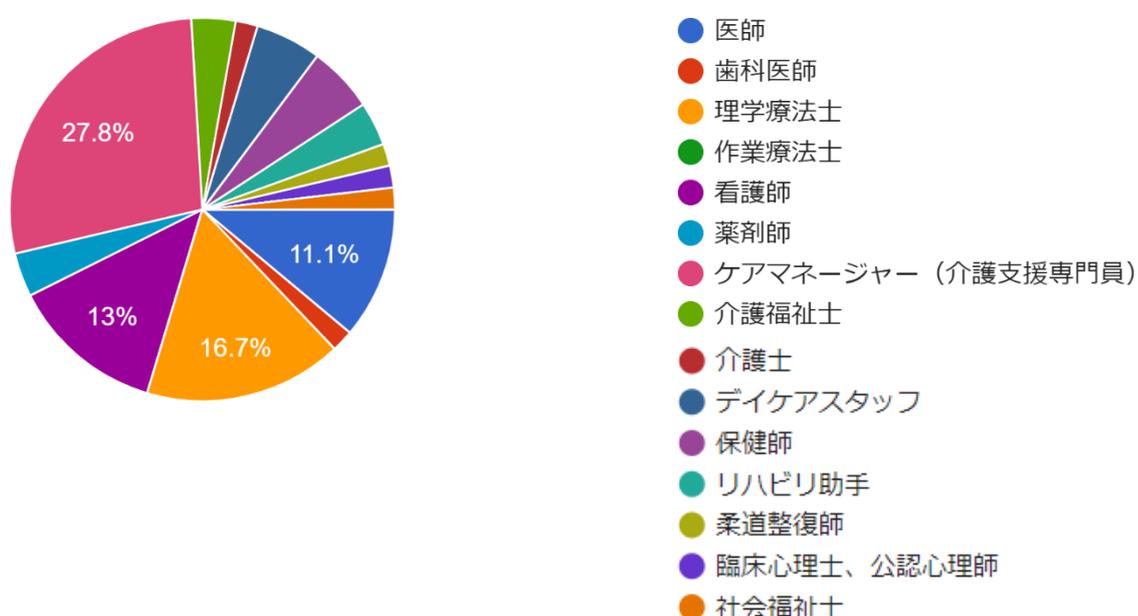
第2回地域医療介護連携セミナー 「介護現場での「痛み」の対応を学ぶⅡ」 アンケート集計結果

2022年3月5日（土）16:00~18:30（オンライン開催）

参加者数 計 116名（オンライン 106名 登壇者 10名）

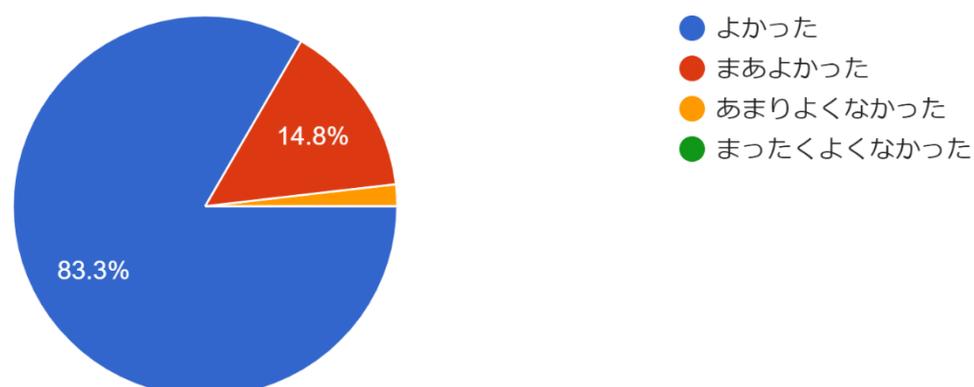
あなたの職種を教えてください。（兼任の場合は主な業種を1つ選択してください）

54件の回答



今回のセミナーの感想をお聞かせください。

54件の回答



感想や意見をお聞かせください。

- ・なかなか、お医者様に、自分の意見を聞くのは、恐縮でしたが、いろいろ、議論下さいありがとうございました。
- ・介護現場で役立つ知識、情報を得ることができました。特に、運動することの効果。
- ・質問にできるだけたくさん答えていただければと思います。
- ・孤独と孤立について深く考える良い機会でした。それに対する先生方の貴重な意見明日から活かしていきます。
- ・対応をしながらとなり、ゆっくりとお話を伺う事が出来なかったのですが、わかりやすい内容で、情報なども頂き、非常に参考になる内容でした。又このような研修に参加したいです。
- ・岡山先生がおっしゃってたように、医師もですが看護師の方もこれくらいわからないのと、あからさまに口に出されることもあります。又、専門用語でしゃべりまわれることもあります。お互いに改善していくとみんながよくなると思いました。
- ・疼痛を訴えられるとなかなか活動の促しがしにくいことが多かったので、気持ちに寄り添いつつ出来ることを一緒に見つけていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・医療介護連携のポイントが学べたので有益であった。
- ・介護に携わる方々のお話を伺えて、大変勉強になりました。貴重な学びの機会を有難うございました。
- ・予防ケアマネジメントを行う上で慢性疼痛を訴えられる方も多い。ケアプラン作成時に目標設定の仕方やかかわり方、考え方をずらしてあげるなど取り組んでいきたいと思いました。運動は痛みととらえている方もいるため、全身運動の効果についても伝えていきたいと思いました。集い場に専門職に入ってもらふこと、またその場で動画流すなど少しずつ伝えたらよいと思いました。
- ・痛みがある方の対応や医療連携が大切であることがよくわかりました。どうもありがとうございました。
- ・発表も後のパネルディスカッションもとても参考になります。
- ・理学療法士の方の痛みの中での運動療法についての説明が実践的でとてもよかったです。
- ・水野先生の痛みの共感とは「患者がそのように考えたり感じたりすることが理解可能であると表明すること」そして、傾聴による話題のコントロールが大事であることなど、とても勉強になりました。
- ・痛みがあっても、体を動かすことが必要だと言うことがわかった。

- ・実際在宅で活動されている岡山先生の発信に共感いたします。一番身近で患者を診ているのは介護職だと思います。医師は介護職、訪問看護師の患者に対する声を真摯に受け止めてほしいと思います。より近い人に患者は情報を発信していると思います。自分の思いをうまく表現できない患者も多いです。その患者の状態を知るには現場の声を拾わないとわからないはずです。医者もチームの一員だと思っていますがそう認識していない医者も多い現状です。
チームで見ているという意識を持ってほしいと思っています
介護職は医療職に遠慮していることが多いできるだけ誰でもわかることばで共有ノートは書くようにしています。
医療職も介護に遠慮していることもあります。
岡山先生がおっしゃったようにみんな仲良く かかわっている患者中心に良い方向でアプローチできるよう協力できるのが一番です。
うまくチームが動いているときとそうでないときの差はかなり大きいと感じています。
水野先生のやろうと思ったこと、できなかったけれどどうできなかったかを聞き取りことでほめることも増えてきます。できるだけそういうことを引き出すように心がけています
- ・先生方のご講演と⑤の「～一緒に話し合う」は大変興味深かったです。勉強になったことはもちろん、私自身の今後の地域での関わりのヒントが貰えたようで嬉しく思います。看護師から保健師になり高齢福祉の課に所属したのですが、医療言語を抜いたコミュニケーションが難しく思っていました。利用者さんの状態を伝えようにも説明の仕方が分からず、価値観も異なってくるのでスムーズに話せないことにストレスを感じていました。また、介護・福祉現場から見た看護師のイメージにも驚きました。その一方で今の職に就き、先輩方から学んだことは私の糧であり、利用者さんとの新しい関わりが新鮮で楽しく思います。また医療と介護の連携については、教育現場からの取り組みも大切かと思います。今回のご講演で痛みへの対応を学べたことを、保健師としての業務に活かしていけたらと思います。
- ・全ての先生が大まかなお話では無く、現場での具体的な内容で、とても分かりやすく良い研修に参加できたなと嬉しいです。
- ・本音が聞けた
- ・為になりました
- ・慢性疼痛に対する対応の仕方等よくわかりました、今後参考にし、患者さんと頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・医療と介護の連携、MSW と CM・地域包括支援センターとも噛み合わないです。在宅と病院の間に溝がある？

- ・多職種連携推進していきます
- ・慢性疼痛は、心理面が大きく影響していることが分かった。また、痛みの種類によっては、運動した方が治りが早いことが分かり、とても勉強になりました。岡山先生のような医師が近くに居たら…と思いました。
- ・痛みを訴えている人へのコミュニケーションの取り方や接し方がわかりやすかったです。
- ・心理社会的な支援に興味を湧いた。
- ・水野先生の患者の話の聴き方が非常に参考になりました。
- ・現場で実践できます。話しを聞いて良かった
- ・これまでの講習で聞いた内容が多く、新たな知見としての情報は少ないと感じた。在宅医の先生の話は臨床のリアルな状況が伺えて参考になった。もう少し今回のテーマである介護現場に特化した内容なのかと期待していたため、少し残念だった。
- ・各先生方の意見交換がじかに聞いて良かったです。
- ・事前資料が有用でした
- ・介護と医療（看護師、医師）をつなぐシステムへの建設的意見・計画をまとめていただけるといいと思います。介護保険を含め、あまりに複雑化しているので医師（とくに訪問医療にたずさわっていないもの）も、勉強しろ、といわれてもなかなかとっつけない。
- ・急に都合がつかず視聴できませんでした。残念で…期間限定のオンデマンド配信はしてもらえませんか。
- ・慢性疼痛においては、中々痛みをなくすことは難しいが、利用者様の話に共感する事で信頼していただく、少しだとしても痛みを忘れる時間を提供する事は大事ななと感じました。
- ・対象をどうしぼるかがむずかしいですね、メンタルな部分はもう少し具体的な話の方がわかりやすい気がします
- ・痛みを訴える方への関わり方、声掛けの仕方を工夫してみようと思いました。また仕事のなかで、医療と介護の連携に悩むことがあり、もっと主治医に介入してほしい場面が多々あるので日ごろから関係を築けるように努力してみようと思いました。”
- ・実例が「あるある」と共感しました。皆様のご対応が大変参考になりました。
- ・高齢者の多くは受診してドクターに痛みの訴えをするが、「年やから」「治らないから痛み止めと湿布で様子見ていくしかない」と言われる。その言葉を聞きながら毎回返す言葉を探していて。本日の研修に参加させてもらい、ドクターでない私達がすべきことは、高齢者の痛みを汲み取り話をじっくり聞きながら精神面で痛みが和らげる時間を作ってあげれる対応していこうと思いました

した。

- ・急性疼痛と慢性疼痛とでは、対処法が全く違う事が分かった。

今後どんな企画を希望されますか。

- ・介護と痛み アンコール
- ・もう一度痛みについてのリハビリ等について話を伺いたいです。
- ・難病の事や認知症全般についても学びたいと思います。
- ・介護現場の痛みの対応を学ぶのテーマを再度実施してほしい。医療と介護の連携についてなど。
- ・痛みに関する医療・介護の動きについて
- ・今回のような形で、ハイブリッド研修されるととてもありがたいです。ありがとうございました。
- ・利用者さまが自宅で簡単に続けられる運動についての企画がいいと思われま
- す。
- ・ACPの大切さの伝え方
- ・医療職と介護職とのスムーズな連携について
- ・乳がんなどからの皮膚転移による痛み 医師にも軽減する方法ないと言われた方がいます。常時痛みがありつらい思いをしています。具体的なサポート先相談にのってもらえる地域の医療機関をどう見つけていくか
- ・家族支援について企画あればと思います。
- ・認知症で介入拒否の方への、アプローチの実際 いろんな介護場面で
- ・ホワイトボードがzoomで使用可能なら、可視化しながら多職種での事例検討。慢性疼痛、地域の課題、活用できる資源などエリア別で実施。
- ・臨床心理
- ・多職種連携。特に医療機関と介護機関との連携について。介護保険内での多職種連携は可能なのですが、介護保険利用者の外来患者である医療機関との連携が難しく感じてます。
- ・痛みを有する患者さんとのコミュニケーション
- ・現在の日本の在宅医療システムと周囲の法律などをわかりやすく提示してほしい。補助金や保険料にむらがってて、患者（またはサービスうける人）とサービスや医療との関係がわけわからない。
- ・認知運動療法や運動管理について知りたいです
- ・痛みを訴える人への対応で疲れたスタッフへの心のメンテナンスについて
- ・在宅での事例検討をもっとしてほしい。

このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

54件の回答

